



～12月のクラスだより～



【12月の保育のねらい】

- ・保育者と歩く、のぼる、おりる、くぐるなど身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・衣服の着脱や、靴と靴下を脱ぐことに興味を持ち、保育者とやってみようとする。



<絵本 読んで！>

ひよこ組では、こどもたちが好きなタイミングで絵本を見られるよう、こどもの手の届く所に用意しています。1冊手に取っては大人の傍へ行き、「ん、ん！」と、「読んで！」を伝えてきます。近頃、多く読まれているのは、『ぼんちんぼん』『プッププー』『とっとこうれしいな』という絵本で、どれも繰り返しのフレーズで構成されているのが特徴です。何度も出てくるフレーズをこどもたちは覚えていて、大人が読んでいると、指差したり、「パン！」「プー！」と、一緒に声に出したりして楽しんでいます。

また、先に読んでもらっている子がいる時、少し前までは、「読んで、読んで！」と、アピールし続ける姿がありましたが、最近は「次読むね。ここに座って待っててね。」と伝えると、大人の隣に座って順番を待つようになりました。「待っていたら読んでもらえる」というのが、分かってくるようです。

こどもたちにとって遊びの一つである絵本。それだけでなく、読んでいる声を聞いてリラックスしたり、膝の上に座って肌のぬくもりを感じたりと、自然なスキンシップが生まれます。ゆったりとした雰囲気の中で読むことを大切に、こどもたちの興味に合った絵本を繰り返し楽しみたいと思っています。



【12月の保育のねらい】

- ・戸外に出て散歩を楽しむ。
- ・身の回りのことに興味を持ち、食事、着脱、排泄など、自分でしようとする。

りす組

<おばけだぞ～>

秋頃におばけが登場する絵本を出したところ、ハンカチを頭にかぶり「おばけだぞ～」とおばけになりきるこども達。一人がおばけになると、「なんだかたのしそうだなあ～」と思ったお友だちが同じようにハンカチを頭にかぶり、部屋中おばけでいっぱい。「う～う～」と低い声を出したり、おばけっぽく手を出したり、ゆっくり歩いてみたりと、一人一人がおばけになりきっています。「こわいこわい」と保育者が怖がる嬉しそうなお顔を近寄り「ば～あ！」と顔を出したり、自らハンカチをとり、「○○ちゃんだよ！」と元通りに。「よかった～○○ちゃんだった」とホッと笑うとこれまた嬉しそうなお顔を笑っています。1歳児は誰かが楽しそうにしていると「まねしてみたい」「あんなことをやってみたい」と思ってみんながおんなじことをやり始めます。「おんなじだね」「同じがたのしいね」という思いをたくさんたくさん楽しんでほしいです。



【12月の保育のねらい】

- ・気温の変化を感じながら、体を動かして遊ぶ。
- ・気の合う友達と言葉や物のやり取りをしながらごっこ遊びを楽しむ。

<秋の散歩>

秋に入り、子ども達の興味関心がある戸外遊びを中心に活動しています。

公園には、子ども達の興味がある物がたくさんあり木の実を拾ったり、赤や黄色に色づいた落ち葉を集めたり、大きな落ち葉は、穴の開いたところから覗き込んで「おにだぞ！」「おばけだぞ！」と言い、楽しんでいます。友達を追いかけたり走ったりとどんどん体力がついてきました。また手を繋いでしっかり歩けるようにもなってきたので、少し遠い公園（落合公園）にも歩いて行くことに挑戦しています。薬師公園に行く時のような平坦な道だけではなく、坂道や階段があります。色々な道歩くことで自分の体をコントロールする力がついてくることを大切にしています。坂道は転びそうになるので、もちろん保育者も注意していますが、「ころんじゃうよ」「つかまって」などと自分たちでも言いながら危ないところは意識できるようになってきています。落合公園は、電車が近くで見ることができたり、池にあめんぼがいたり、ポコポコしたところでは手をついて登ったり、薬師公園にはない魅力的な物がたくさんあるので、落合公園に行く日はいつもよりわくわくしているこどもたちです。



【12月の保育のねらい】

- ・おおきなかぶごっこを楽しむ。
- ・固定遊具で体を様々に動かしながら遊ぶ。

ちゅうりっぷ組

<再現遊びたのしんです！>

ちゅうりっぷ組では毎日昼寝前とおやつ後に絵本や紙芝居を読んでいます。担任が選んで持ってくると「これはまだ読んでないね」「これ読んだことあるけどおもしろいからまたみたい」と、みんな集中して楽しむ時間です。最近はそのお話の世界観を日々の遊びの中でも楽しむようになってきました。

先日遊んだおおきなかぶごっこでは、綱引きのようにかぶ役とかぶを抜く役に分かれて引っ張り合いました。「全然抜けないよ～」「孫も手伝って～！」とどんどん抜く役が増えていき、最後の一人が加わったところで「やっとかぶは抜けました」と終わりました。その時、どの子もやりきったような笑顔で「みんなで引っ張ったから抜けたんだよね」「くんのおかげだよ！」なんて声がこどもたちから出たのを聞き、全員でイメージを共有しながら遊ぶ楽しさや達成感を感じられた活動になったなあと思いました。今月は、お家の方の前でクラス全員で発表をする、初めての成長を祝う会があります。引き続き、こどもたちのイメージや「これをやってみよう」「これならできる」という思いを大切に日々遊びながら、会へと繋げていきたいと思っています。（会の詳細については後日お知らせいたします。）



【12月の保育のねらい】

- ・自分のやりたいことを実現しながら自信をもつ。
- ・ルールを守って友だちと楽しく遊ぶ。

さくら組

<“話し合い”ファーストステップ>

気持ちのいい季節。戸外でいろいろな鬼ごっこ（色鬼やひっこし鬼）を楽しんだり、ジャングルジムや鉄棒などで体を動かして遊んでいます。どこに散歩に行きたいかを出し合ったり、どうやって決めるかを決めたり、自分の意見や考えを「友達や周りに伝える」場面が増えてきているさくら組です。友達にも自分の考えが伝わって「いいね！そうしよう」となったり、「えーそれはヤダ」と返ってきたり、さまざまなやりとりがあります。こどもたちだけでは自分の思いを言うだけになってしまってもまだまだあります。「じゃあどうする？」「どうしたらいいかな？」と大人や他の友達からのアシストで折り合いをつける経験を重ねています。今月は特に、成長を祝う会についての話し合いや、その中で友達とのやりとりが増えていきます。それぞれに考えていることを話し合いながら遊びを進める中で、自分の考えと友達の考えの違いに気づいたり、どんな風に話したら相手にわかってもらえるかを考えるなど、とりくみを通していろいろな出来事を経験していく機会になりそうです。



【12月の保育のねらい】

- ・友だちと協力し合って、ひとつのことに取り組む。

【今月のおたのしみ】

- ・24日（金）クッキング（ホットケーキづくり）

もみじ組



<もうすぐ小学生！「わくわく」と「ときどき」を大切にしたい>

10月～11月にかけて就学時健診が行われました。出発する友だちに、残る子が「いってらっしゃーい」と声をかけました。翌日、「こんなことしたよ、たのしかった」と話してくれる子たちの目はキラキラしていました。それを聞いて、まだ行っていない子は「つぎはぼくのばん」とわくわく、ちょっとときどき。こどもたちの中にいよいよもうすぐ・・・という気持ちが強くなってきたように感じます。

こどもたちと話していると、字を練習したり数字を数えたり、「勉強する」ことを楽しみにしている様子うかがえます。自信に満ち溢れています。同時に、生活面も意識できたらと思います。例えば・・・

寝不足で登校して、頭がぼーっとしないよう、たっぷり睡眠をとるために『早寝、早起きのリズム作り』

服の前後が間違っていたり、シャツが裾からはみだしていないか、髪の毛がぼさぼさになっていないか、口のまわりが汚れていないかなど、『身だしなみを自分で整える』

荷物を自分で持つ、忘れ物がないか確認するなど、『自分のことは自分でしようとする』

など、やれる所から始めてはいかがでしょうか。とはいえ、急に一人でやりなさいと言われても、すぐには出来ないものです。最初はお父さん、お母さんが一緒に寄り添ってくださると良いかと思えます。気をつけたいのは「あれして」「これやったの」と先に指示しないこと。私たちも気をつけたい所です。また、「もうすぐ小学生なんだから」というのもNGワードです。「小学生になるんだからちゃんと出来ない・・・」と不安ばかりが大きくなってしまっても可哀想です。

小学校へ行くことはこどもたちにとって憧れ。そして、先を見通してわくわくときどきしている『今』もかけがえない時間。プレッシャーをかけ過ぎず、今の時間を一緒に楽しく過ごしたいと思っています。